

進化を続ける Practical Law

日本国内のコンテンツとリーガル・ソリューションに加え、トムソンロイターのグローバルコンテンツとソフトウェアソリューションを含む総合的な法情報オンラインサービスを法律事務所、企業、教育機関、政府機関へ提供するウエストロー・ジャパン。

2017年のサービス開始以来、法制度概説や用語集にとどまらず、英米法系の国々の契約条項のサンプルや注釈付き雛型など、国際法務に役立つ情報が蓄積されているリサーチツール、Practical Lawの現在地を聞いた。

1 まず、Practical Lawをあまりよく知らない方々のために、当該サービスの中核的な内容・機能のアウトラインを教えてください。

ビジネス展開上必要な法実務ガイド、マニュアル、解説付き契約書雛型を中核とし、その他各業務における法的留意点を踏まえた確認項目リスト（チェックリスト）や各国の法改正情報をまとめたリーガルアップデートなどのコンテンツを幅広く収録しております。

また、一問一答による自動ドラフト、AI検索、各国法令・法制度比較資料が簡単に作成できる機能、法律に関する一般的な質問ができるASKサービスなども重要な機能、サービスです。

企業の法務担当者であれば、今まで法律事務所に任せていた案件、トピックについてある程度自社で都合のよいタイミングでいつでも調査ができるので、弁護士費用の削減や自社内の知識、ノウハウの底上げ・蓄積にも役立ちます。

法律事務所であれば、素早く契約書を作成でき、クライアントからの要望にPractical Lawを利用して応えられ、より多くの案件、かつ重要な案件への対応が可能となります。

2 Practical Lawのサービス提供を開始したとき、弁護士・企業法務の業務をどのように変えたかったのか、どのように貢献しようと考えたのでしょうか？

Practical Lawは元々英国屈指の法律事務所として知られるスローター・アンド・メイ（Slaughter & May）の法人専門弁護士ロバート・ダウトとクリス・ミラーチップが、Practical Law Company (PLC) を設立したことからはじまりました。会社設立の当初の目的は、英国の弁護士たちの日常業務をサポートするために法律専門誌PLC Magazineを発行することでしたが、時代のニーズ変化と共に今のオンラインデータベースの姿に変わりました。法律実務家として契約書作成やその他の業務に必要な知識を網羅的かつ体系的に習得するには長い年月が必要となりますが、ビジネスや国際化のスピードが加速化するなか、それに追いつくための支援が必要と実感し、弁護士業務や企業法務の効率化、課題解決を実現することが、サービス開始以来、今現在に至るまでの目標です。

※2013年にトムソン・ロイターがPLCを買収。

3 サービス内の情報の正確性を担保するための人員体制、チェック体制はどのようになっているのでしょうか？

Practical Lawの編集チームは、一流の法律事務所や企業で経験を積んだ約600名の専属弁護士で構成されており、彼らは世界各国の法律事務所をはじめとするコントリビューティング・ファームや社内の審議委員会と密に連携をとりながら、常に最新のコンテンツをユーザーに提供するべく尽力しております。

この専門チームに入るには最低5年の実務経験が必要であり、今現在平均15年程度の実務経験を持つスタッフが所属しております。

また、上記の編集チームに加え、世界中数百の法律事務所もコントリビューターとして参加しており、日本国内からも西村あさひ法律事務所、アンダーソン・毛利・友常法律事務所、長島・大野・常松法律事務所、森・濱田松本法律事務所、渥美坂井法律事務所・外国法共同事業といった大手法律事務所がコントリビューティング・ファームとして名を連ねていることも、Practical Lawの利点の1つになっていると思います。

4 パラリーガル、アソシエイト弁護士、パートナー弁護士〔（企業の場合）新任・若手担当者、中堅担当者、決裁権限者（マネージャー）層〕といった各職位・各ステージに応じて、それぞれPractical Lawのどの機能が効果的に各ステージにおける業務に役立つのでしょうか？

クライアント企業、法律事務所の組織の在り方や業務内容によって異なるので、一概に回答するのは難しいのですが、パラリーガル、アソシエイト弁護士〔（企業の場合）新任・若手担当者、中堅担当者〕にも、パートナー弁護士〔決裁権限者（マネージャー）層〕にも、以下のコンテンツ、機能及びサービスは重宝されています。

コンテンツ：実務ガイド（Practice notes）、契約書雛型（Standard documents/Clauses and drafting notes）、チェックリスト（Checklist）、トレーニングコンテンツ、リーガルアップデート（Legal updates）、自動ドラフトツール（Fast Draft）、各国比較ツール（Quick compare）
サービス：ASK機能

5 Practical Lawを法律事務所と企業法務部が同時に並行的に使用して、メリットが想定されるようなケース、ワークフローはありえますでしょうか？

Practical Lawはコンテンツの共有が効率的に行えるので、法律事務所⇄クライアントが両方Practical Lawへのアクセスを持つことにより、法律事務所はクライアントへの説明をより正確に効率的に行うことができ、クライアントはよりの確な情報を把握した上で説明を受けることができます。

6 「ASK」における質問の、いわゆる「秘密性」「匿名性」「質の担保」はどのようになっていますか？

「秘密性」「匿名性」は保たれており、「質の担保」も専

属弁護士チーム及び社内コンテンツ監修チームによって厳しく管理されております。

7 「カスタマイズした設定」を、便利に共有する方法はありますか？

アラートなどカスタマイズした設定を関係者に共有することは簡単です。

例えば、アラート設定のケースですとアラート設定画面から共有したい相手の指定、変更が365日24時間ユーザーご自身で行えます。

また、ノートやフォルダー、作成した契約書雛型なども同様です。

Practical Law 主要コンテンツ一覧

✓ プラクティスノート

最新の法律や実務への適用のされ方を分かり易く解説しています。クイック・ガイドや概要説明、詳細なガイダンスが用意されており、主要な取扱分野がすべてカバーされています。

✓ カレントアウェアネス

経験豊富な編集チームによって作成される、法律の最新情報配信サービス（日刊、週刊、及び月刊）で、ユーザーは最新の情報とその情報の重要性を理解することができます。

✓ スタンダードドキュメント

ドラフティングの効率化に役立つ、業界で最も信頼されている定型文書、提携条項レター、裁判所書式などを収録しています。

✓ ASK（アスク）

アスク・サービスを利用することで、ユーザーは編集チームに対して、法律に関する質問をすることができます。質問をすると、適切なリソースを見つけるためのアドバイスが得られるとともに、他のユーザーの意見も聞くことができます。Practical Lawは、このようなユーザーからの質問やフィードバックを常にリソースの改善や発展に役立てています。

✓ トラッカー

主要な法令、判例、日付やその他の動向を簡単にトラッキングすることが可能です。

✓ PLCマガジン

弁護士を対象とした業界をリードする月刊誌で、外部の専門家による寄稿記事やコラムが掲載されています。

✓ チェックリスト&フローチャート

一般的な取引の際に、確認漏れがないかを簡単にチェックすることのできるリマインダー・ツールです。

✓ ワークフロー・ツール

自動ドラフティング・ツール Fast Draft（ファスト・ドラフト）、リソース上のメモを共有するための Annotation（注釈）機能、文書の書式を特定のスタイルに変換するための書式変換ツールが搭載されています。

✓ Westlaw UKへのリンク

随時更新されるリソースやリーガルアップデートは、Westlaw UK*に収録される判例レポートや現行法令へのリンクが組み込まれており、ユーザーは、それらのリンクを利用して、法律の内容をより詳しく調査することができます。

*本機能を利用するためには、ユーザーは、Westlaw UKを購読している必要があります。

✓ WHAT'S MARKET（ワッツ・マーケット）

公開取引の概要、市場慣行の分析情報、及び年次株主総会資料に関するデータベースです。



無料トライアルご希望の方は、こちらのQRコードからお問い合わせフォームにアクセスまたはメールにてお問い合わせください。
お問い合わせフォーム www.westlawjapan.com/form/contact/
メールお問い合わせ support@westlawjapan.com

WESTLAW JAPAN
A Shinnippon-Hoki, Thomson Reuters Partnership